



外国出張報告書 565

平成 26 年 3 月 31 日

1. 出張国名 フィリピン
2. 出張月 平成 26 年 2 月～3 月
3. 出張目的 西ネグロス州減肥サトウキビ栽培圃場の被害状況の確認、今年度成果概要
 のとりまとめ : A

4. 成果の概要

ケソン市にある農業省土壌・水管理局 (BSWM) で、今年度の研究成果の概要を説明した。地下水の硝酸態窒素濃度が高い、西ネグロス州の河川流域において、人口、家畜数および農業統計データを使って、地表面に排出される窒素量を試算した。地表面に排出される窒素量の 80% 近くが、農地 (サトウキビ畑) への施肥窒素によるものだった。また、流域内の地下水、河川水の窒素と酸素の安定同位体比の測定結果から、この流域の地下水、河川水の窒素の起源は、有機物由来以外 (土壌や肥料等) の可能性があることがわかった。

西ネグロス州は 2013 年の台風 30 号が直撃した地域である。この地域のサトウキビ栽培試験圃場の被害状況を確認した。海岸部に近い試験圃場では、倒伏したサトウキビ個体はあったものの、被害はさほど大きくなかった。一方、山間部に設置した気象観測機器は損傷が激しく、センサー類を交換する必要があった。

その他、河川流域内において、土壌断面の調査、データ収集 (日降雨量、サトウキビ収量) を行った。